

2017年

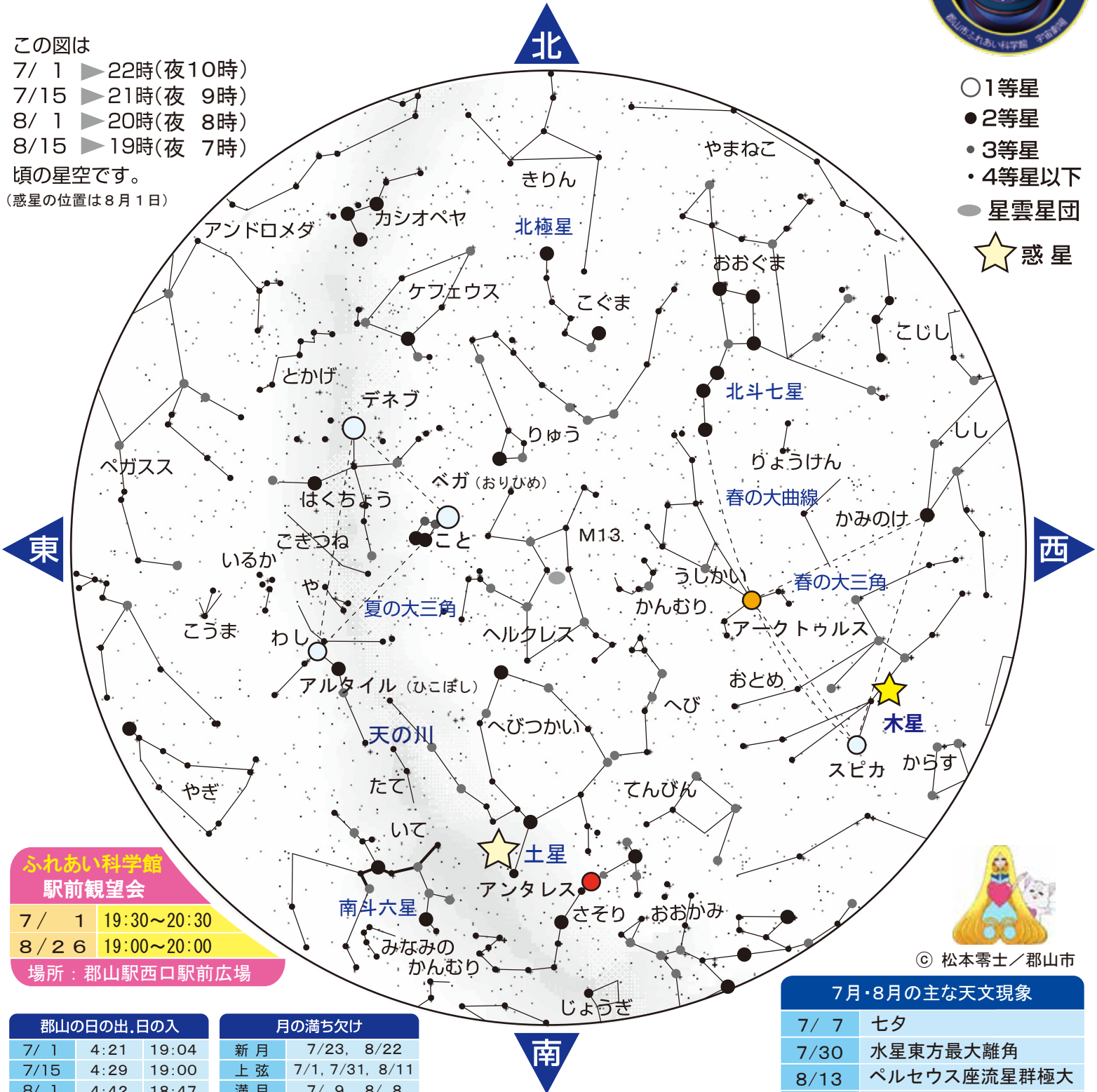
7月▶8月の星空



この図は
 7/ 1 ▶ 22時(夜10時)
 7/15 ▶ 21時(夜 9時)
 8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)
 8/15 ▶ 19時(夜 7時)

頃の星空です。
 (惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館
駅前観望会

7/ 1 19:30~20:30
 8/26 19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場

郡山の日の出、日の入		
7/ 1	4:21	19:04
7/15	4:29	19:00
8/ 1	4:42	18:47
8/15	4:54	18:32

月の満ち欠け	
新月	7/23, 8/22
上弦	7/1, 7/31, 8/11
満月	7/ 9, 8/ 8
下弦	7/17, 8/15

※上弦、下弦は半月です。



© 松本零士/郡山市

7月・8月の主な天文現象

7/ 7	七夕
7/30	水星東方最大離角
8/13	ペルセウス座流星群極大
8/28	伝統的七夕

今年は夏の星座の中に土星が見えます。薄いクリーム色で明るく光り、さそり座の心臓の赤い星「アンタレス」との色の対比が印象的です。また、望遠鏡では土星の環を観察できます。地球からは土星の環の見え方が毎年変化します。今年は環の傾きが大きく、環の中のすきまもよく見えます。ふれあい科学館の駅前観望会など、望遠鏡をのぞく際にはぜひ土星の環をご覧ください。

また、月明かりのない時期(新月の前後数日)には、天の川も見えてきます。この天の川をたどって空の高い所を見上げると、「夏の三角形」が見つかります。大きな三角形を作るのはこと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」です。このうち、「ベガ」と「アルタイル」は七夕の星で、「ベガ」が織姫、「アルタイル」が彦星です。8月28日の「伝統的七夕」とは旧暦の7月7日のことで、毎年日付が変わります。七夕発祥の国、中国では織姫と彦星が無事に会えるように祈り、布を織るのが上手な織姫にあやかり、裁縫が上手になるようお願いをかけたと言われています。これが短冊に願い事を書く始まりとなりました。伝統的七夕の頃には梅雨も明けているため、7月7日が曇っていた場合はこの日に織姫と彦星を見てみるのはいかがでしょうか。街明かりの少ない所では暗い星も見え、空いっぱい星が輝いています。夏休みにキャンプなどで山や海に出かける時は、ぜひ自宅での星の見え方と比べてみてください。

